

共生・公正・創造
共生の精神のもとに、心
とところをつなぎ、次代
につながる公正な社会を
創ります。

JR東日本労働組合 東京地本

JR東日本労働組合
東京地方本部
東京都千代田区鍛冶町2-11-11
発行者・郷 重雄 編集者・室岡 圭司
TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292
FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292

第5回の節目！ これまでの取組みに自信を持ち 新たなスタートを切る！ 第5回定期大会開催

東京地本を代表して福田執行委員長あいさつ(別掲)の後、来賓の皆様よりあいさつを頂いた。大畑おさむ北区区議会議員、交運共済・松井事業本部長、中央本部・佐藤執行委員長、横浜地本・松田執行委員長、八王子地本・清水執行委員長、大宮地本・登坂執行委員長、退職者連絡会・橋本会長より、それぞれ連帯



議長に選出された須貝代議員

副委員長は議長選出まで行い、議長には、須貝代議員(東京総合車両センター)が立候補し承認され以下の議事を進めた。

大会には48名の参加者が結集し、一年間の総括と2017年の運動方針が提起され、真剣な議論が行われた。

と激励のあいさつを頂いた。



佐藤中央執行委員長



挨拶する海江田前衆議院議員

議事に入り、第1号議案「大会延期承認」第2号議案「2017年度運動方針(案)」第3号議案「2016年度決算及び会計監査報告」第4号議案「未処分収支剰余金の処分(案)」第5号議案「2017年度予算(案)」第6号議案「規約・諸規則の一部改正(案)」が執行部から提案された。

昼食休憩の前に海江田前衆議院議員が来場され、「私も東京地本大会に5回連続で参加している」

と、短い時間であったが激励のあいさつを頂いた。

再開後、質疑では代議員6名から発言があり、運動方針を補強していた(発言内容は別掲)。その後、各部の答弁を行い、最後は郷書記長が集約答弁で締めた。(別掲)

採決に入り、全ての議案が満場一致で承認された。

その後、「大会宣言(案)」が読み上げられ拍手で承認された。

最後に、郷新執行委員長(案)の団結カンパニーで大会を締め切った。

大会終了後には、懇親会を開催し、親睦を深めました。

新しい役員体制になり、東京地本執行部は、全組合員の先頭に立ち組織の強化・拡大、働きやすい職場づくりをを目指します。

今大会で、長いあいだ組織を牽引していただいた、福田執行委員長、斎

藤執行副委員長が退任をされました。

お二人から退任の挨拶があり、「これからも東京地本のためにお手伝いをしたい」と述べられ、会場からねぎらいの拍手が送られました。

挨拶を頂いた皆様



八王子地本・清水執行委員長



横浜地本・松田執行委員長



交運共済 松井事業本部長



大畑おさむ北区区議会議員



福田委員長と海江田前衆議院議員の固い握手



退職者連絡会 橋本会長



大宮地本・登坂執行委員長

福田委員長あいさつ要旨



今年は第5回記念大会。東京地本は2014年2月に統一し、全てが白紙の中、今日を迎えることができた。

本部は2013年統一後、24名の組織拡大を勝ち取ることができた。東京地本でも1名の加入と契約社員4名の仲間が私たちの戦列に加わり拡大できた。しかし、組合員の高齢化による

組織の減少は最大の課題であり、組織拡大は急務である。

私たちは「新しい労働組合運動の創造に向けた組織方針草案」に基づきJR労働運動の大同団結・一元化に向け全組合員で奮闘してきた。

●第1の課題：安全の確立の取り組み

私たちは、会社に対して重大インシデントが発生した際の再発防止策の策定プロセスに労働組合の意見を反映するように東京支社に労使協議の場を求める。労働組合としてのチェック機能を強化し、安全問題は労使共通の課題として事故の目をなくすため、

実効性の高い安全対策を求めていく。

●第2の課題：組織強化拡大の取組み

着実に他労組組合員が、私たちを見る目が変化しているのは確か。自信を持ち、職場の日常活動を通じた、地道な運動を続けることが求められている。さらにグループ会社のプロパー社員の組織化に向けた取り組みも急務であり、本部と連携して取り組む。

●第3の課題：政治動向

安倍内閣は都議選などで惨敗し支持率低下している。民進党も内部対立により支持率が低迷している。民進党の奮起に期待する。

今年でJR発足30年を迎える。30年間「差別」「選別」「排除」を経験し「JR労働者の大同団結」を訴えてきた。全国に応援してくれる多くの仲間がいることを忘れずに今まで通り、地域共闘などに取組み、組織を成長させることが課題。

最後に、本日をもって地方本部執行委員長を退任することになった。お互いの思想信条を尊重して「労政転換」「JR労働者の大同団結」を訴えてきた。4年前素晴らしい仲間と統一し、この思いを仲間が継承し、達成できると信じている。

今日までの感謝を申し上げます。いままでありがとうございました。

代議員発言要旨

■横森代議員（東京通信技術センター）



工事量が多いため、作業に余裕がなくなっている。業務量に見合った要員の確保をしないことには、事故は減らせない。
エルダーの見直しが提案され、J R本体に残れるという選択肢は増えたが、自己申告書の記入様式で意思表示がしづらい。また、本体に残った場合の業務内容が見えてこないで希望が出しづらい。

■伊藤代議員（中野電車区）

エルダーの見直しはエルダーの行き先が少し増えただけ。仕事の中身などはっきりしていない。今後どうなっていくのか。
ダイヤ改正について他労組と意見交換を行い要望を出してきた。今後とも継続して行っていく。
若い社員が言えないことを私たちの年代が言うことが大事ではないか。扶養認定の交渉をやっていた感謝している。



■石井代議員（上野車掌区）



分会集会がなかなかできていないが、先輩社員のエルダーへの送り出しを集まってできた。
3月ダイヤ改正では、交渉の前に職場でダイ改説明があり交渉の場で抗議してきた。しかし、10月のダイヤ改正もまだ会社提案がない。常磐線の特急が一人乗務となるという話もある。早く提案、交渉ができるように働きかけてほしい。
エルダー制度見直しで現場に残れるというのが、労働条件等の細部を交渉で明らかにしてほしい。

■吉田代議員（東京総合車両センター）

エルダーの面談が始まった。会社から、ある部署では「同じ職場でそのままの作業をしてもらう」という話があったようだが、ほかの部署では「助役、主務の再雇用はあるが、その他は対象外」という話がされたようだ。同じ職場なのに部署によって話にばらつきがある。スケジュールも大幅に遅れている。今年度は一か月前にやっと雇用先が決まるという状況。支社に対してもっとわかりやすい説明を求めている。



■内谷代議員（中野電車区）

60歳以降も生活のためにエルダーで働かざるを得ないのが現実。そのことについての認識が会社はあるのか。弱い立場の社員からすれば「何とかしてほしい」というお願い運動になってしまう。私たち組合員一人ひとりが職場で「会社は制度を責任をもって運用するべきだ」と会社に突き付けていくことが重要。



■中村代議員（東京駅JESS）

地本エルダー協議会、現在38名で組織して活動している。
会社はエルダーを迎える社員に、本当に親身になって相談に乗っているのか。社員の気持ちを全然わかっていない。安心して行ける面談をしてほしい。
管区制度が導入され、勤務場所が事業所単位から管区内の職場へと範囲が拡大され、会社の都合でどこでも転動させられるようになった。
ぜひ、面談では自分の主張を貫き通してほしい。



多くの発言で熱気あふれる議論に！

本日は、48名の仲間が結集した。みんなが集まって意見交換をする、こういった集まりを一つの足掛かりにより良い職場をそういつた取り組みのスタートにする。
6名の代議員の発言があった。エルダーについて問題意識が高い。職場では平成採用が多いがエルダーについて敏感ではない。しかし、同じ職場で働く者同士に年齢差はない。その問題についてフランクに話し合える環境になっていないのが課題。私たちの現状はそれぞれの組織の中だけで連帯を作り出すということになっていない。
制度で選択が増えたただけで選べと言われてもなかなか難しい。条件についても会社がちゃんとやるのか不透明である。
ダイヤ改正についても提案前に現場でダイヤ改正の説明することは会社はいいと言っていない。このところもしっかり伝えていく。
繰り返される事故があることを会社も認識している。しかし、現場で働く社員の率直な感想と、支社との話し合いの中の
問題意識が果たして同じになっているのかが大きな問題。
会社は「こうやろう」というがそれをやる職場はそうなのだろうか？労働組合だからこそ取り組みなければいけない。職場の中で組合員同士が意見交換をしていく、そのことがなしには重大事故の道につながっていかない。
労働条件向上させるには、それぞれの組合がそれぞれで頑張っていけばいいんだという段階にはない。多数だから会社とやっつけばいいなどど胡坐をかいているならば、今のこの現状について総括してほしい。
職場からの連帯を作り出さないと問題解決につながらない。
若い社員が声をなかなか声を出しにくい。そういった方たちと、意見交換をしていくというスタンスで連帯を作り出すのが大事である。
新役員体制でこれから臨んでいく。まず、皆さんと顔を合わせて意見を聞くところから一つ一つ創り出していく。色々な感情を持っていると思うのでひざを突き合わせ意見交換をし、後輩たちに何を残していくのかを作り出すために全組合員で頑張っていこう。



郷書記長集約答弁

新執行体制

執行委員長	郷重雄
執行副委員長	小宮実
執行副委員長	佐藤充
書記長	小泉弘明
執行委員	依田匡一
執行委員	中嶋洋司
執行委員	難波剛
執行委員	須貝欣一
執行委員	室岡圭司
会計監査員	久保田勉
会計監査員	鈴木英司

心機一転！新たな体制で取り組んでいきます。今後ともよろしくお願い致します。
長い間、ご活躍された福田高夫さん 斉藤良治さん 大変お疲れ様でした。

＜今後の取り組み＞

第4回本部ゴルフ大会

日程 10月26日(木)※25日前夜祭
場所 サンコー72カントリークラブ

分会代表者意見交換会

日程 10月27日(金)～28日(土)
時間 10:30～20:00
場所 地本事務所

地本エルダー協議会第3回定期総会

日時 11月11日(土)11時から
場所 地本会議室